

## エゴという名の犬を手なずける

オペラ作曲家であるジュゼッペ・ヴェルディが、イタリアのミラノにあるスカラ座でピアノリサイタルを行った夜の事です。ヴェルディが最後の曲を弾き終えると、観客からはアンコールの声が上がりました。この拍手を大いに喜んだヴェルディは、芸術的な観点から言えば、いわゆる良い音楽ではありませんでしたが、観客を喜ばせることができる派手な曲を選曲しました。

ヴェルディがこのアンコール曲を演奏し終わると、観客は一斉に立ち上がり、またもやヴェルディに大喝采を浴びせました。彼が拍手に酔いしれていると、バルコニーに座っている恩師の姿が、彼の目に飛び込んできました。この恩師は、ヴェルディが何をしたかよくわかっており、彼は他の観客と共に立つことも、拍手することはありませんでした。そしてその時ヴェルディは、彼の恩師の顔に、「ヴェルディ、ヴェルディ。どうしてこんなことをしたんだ？」と言わんばかりの、深い失望の表情を見ることとなったのです。

わたしの友人である、故ロバート・D・フォスターは、これら支配欲や承認欲求を「ヴェルディ・ウイルス」と呼んでいました。また、ドイツの哲学者であるフリードリッヒ・ニーチェは、この欲をこう表現しています。「わたしが登山をすると、必ずエゴという名の犬がついてくる。このエゴは、褒められると膨らむ。権力や成功を求めている。そして、どれだけこれらのものを手に入れても、決して満足しないのである。」

ビジネスやプロの世界では、最も新しい成功を収めてこそ自分の実力だというメッセージを発信し続けることで、この欲求を満たしています。これがよくあることとはいえ、他人からの称賛を求める行為は、時に有害な場合があります。ヴェルディのように、たとえそれがベストや正しいことでなかったとしても、望む反応を得るために妥協してしまうことがあるのです。こ

のような人間の状態がありのまま記述してある聖書には、このような例が多々あります。

たとえば、イエス・キリストは、宗教指導者たちが自分を偽っていることを指摘しています。その典型的な例がマタイの福音書 23 章 27-28 節です。「わざわざ。偽善の律法学者、パリサイ人。おまえたちは白く塗った墓のようなものです。墓のその外側は美しく見えても、内側は、死人の骨や、あらゆる汚れたものがいっぱいです。そのように、おまえたちも外側は人に正しく見えても、内側は偽善と不法でいっぱいです。」

大切なのは、外側ではなく、内側。イスラエルの新しい王を選ぶにあたって、神は“見た目テスト”を合格する者ではなく、“心テスト”を合格できる者を探しておられました。そして神は、のちに「わたしの心になった者」と呼ばれる、ダビデを選ばれたのです。「人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、主は心を見る。」(サムエル記第一 16:7)。

称賛は、人格を試すテスト。称賛を受ける際、私たちはどのように反応するでしょうか。もっと称賛してほしいでしょうか？それとも、謙虚な感謝の気持ちで応答するでしょうか。「るつぼは銀のため、炉は金のためにあるように、他人の称賛によって人はためされる。」(箴言 27:21)。

他者を優先することで、称賛の必要性が減る。褒められたいという気持ちが強いと、自分たちを中心に考えてしまいます。ですが私たちが他者を優先すると、自分のエゴはあまり気にならなくなるのです。出来事すべてが“わたし！”中心の世界観では、意識的にその考え方を変える必要があります。「何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。」(ピリピ 2:3-4)

## もっと深めるために：

1. 今回マナに掲載された作曲家ジュゼッペ・ヴェルディの話を今まで聞いたことがありますか？褒められたい、認められたいという欲求が、私たち多くの人間のこころにあるのはなぜだと思いますか？

2. ヴェルディ氏は、多くの観客から喝采をあげましたが、自分にとって本当に重要なのは 1 人の観客からの承認であることを自覚していました。このことを霊的観点からみると、私たちの行動や動機とどのように関連付けることができるでしょうか。私たちが信じて仕えている神である“一人の観客”に受け入れられるだけで、自分の人生や仕事に満足できるでしょうか？

3. 外側は完璧に整えているように見えるのに、心の中の思いや考えは違うという人物例が思いつくでしょうか。あなたご自身はどうでしょうか？こころの中では違う思いを抱きながら、それを隠すために外側を偽ったことはないでしょうか？

4. 自身の興味や利益よりも他者を優先する姿勢をどのようにして養えばよいでしょうか。これは簡単にできることでしょうか？そうであるか、またはそうでないかもお答えください。

参考聖書箇所リストです。参照ください：箴言 11:2、16:2,18、17:3、18:12、22:4、25:6-7、27:2、29:23、ヨハネ 12:42-43

英語版 Monday's Mana は[こちら](#)

この発行はロバート・タムジー氏により書かれました。月曜日のマナ®は CBMC が毎週発行しているメールマガジンです。CBMC は、1930 年に創立され、世界中で、各業界で働く従業員や経営者に対してイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。

©2021 年-この発行の全ての権利はブラジル CBMC・日本 CBMC にあります。